

共 進 会

静閑堂主人

畜産共進会ぐらい華やかなものはないとは一般の通評である。何しろ生きものが対象であって、その声援にどっと関係者がくり出すので、人の動きは他の共進会の比でない。それにはでな褒賞授与式が見ものだ。山と積まれた賞状、賞品、数多くの名士の祝辞、祝電、それから祝宴と中々の豪華版である。更に付帯行事が期間中あれこれ行われるので、開催地祝賀気分が一層あふれる。

外国では農業共進会の一環として、概ね行なわれているようである。そこでは、農業全般の極めて新しい姿が展示されて、目をうばうものがあるが、集まった人達は実にピクニック行ったようだ、楽しさも味わって居り、日本と異った静かな落ちついた雰囲気を感じられる。

日本ではあまりに審査を重視して、審査員の動きに血ばした目を光らかしたり、審査員に愛想や牽制をしたり、あの審査員はあう云うタイプのものがお好きだからと批判したり、又熱心のあまり審査場の中に突入して、会場整理員を困らすような場面がある。そして上位入賞決定の時は息づまるような興奮が会場に満ちるなど、いやはや大変な光景が展開される。そこで審査員もここそ相談して、褒賞授賞式の前日にならないと結果を発表しない。ただ審査の過程で出品家畜の並び具合で、等級を想像して、悲喜こもごもの気持ちを楽しんでいるのが通例である、まったく審査は精神的にも肉体的にも大変な過重で、御気の毒千万、又家畜の種類によっては出品数が少ないので、何回もならべて、もっともらしい顔で審査簿に何やら書いているのも御気の毒千万である。こんな風景が毎年秋になると各地でくりかえされて、種畜の改良に貢献すると云う段取りになる。

審査員は大抵役人とか、団体の職員であって所謂公平な審査が期される点はよいが、一流「ブリーダー」

あたりの審査員もぼつぼつ出てもよいようである。審査のやり方も毎年改善されて居り、丁寧な講評も行なわれている点は喜ばしいが、何んと云っても主催者の悩みは経費の捻出であろう。ここにうまい工夫はないものか。

そこで私は常設の共進会場の建設を提唱したい。もうそろそろ農業全般の共進会が岡山市あたりで開設されてもよいようである。総合グランドと云う立派なものも完成しようとしている現在、農業県としての有望性をもつ岡山県では、常設の共進会場の建設を民間農業団体の総意の結果で押し進めるべきであろう。

農業方式の改革が要請されている今日、畜産だけを考えないで、農業全般の振興のためのP・Rの一助として、百万都市にふさわしい農業施設があってもよいではないか。気楽にゆっくりと観賞出来るような施設があってほしいものだ。

中秋の頃、農業文化の向上をめざして、岡山市にどっと繰り出す人の波ははかり知れない効果をもたらしますよ、どうです、県の農林当局は御賢考願えませんか。